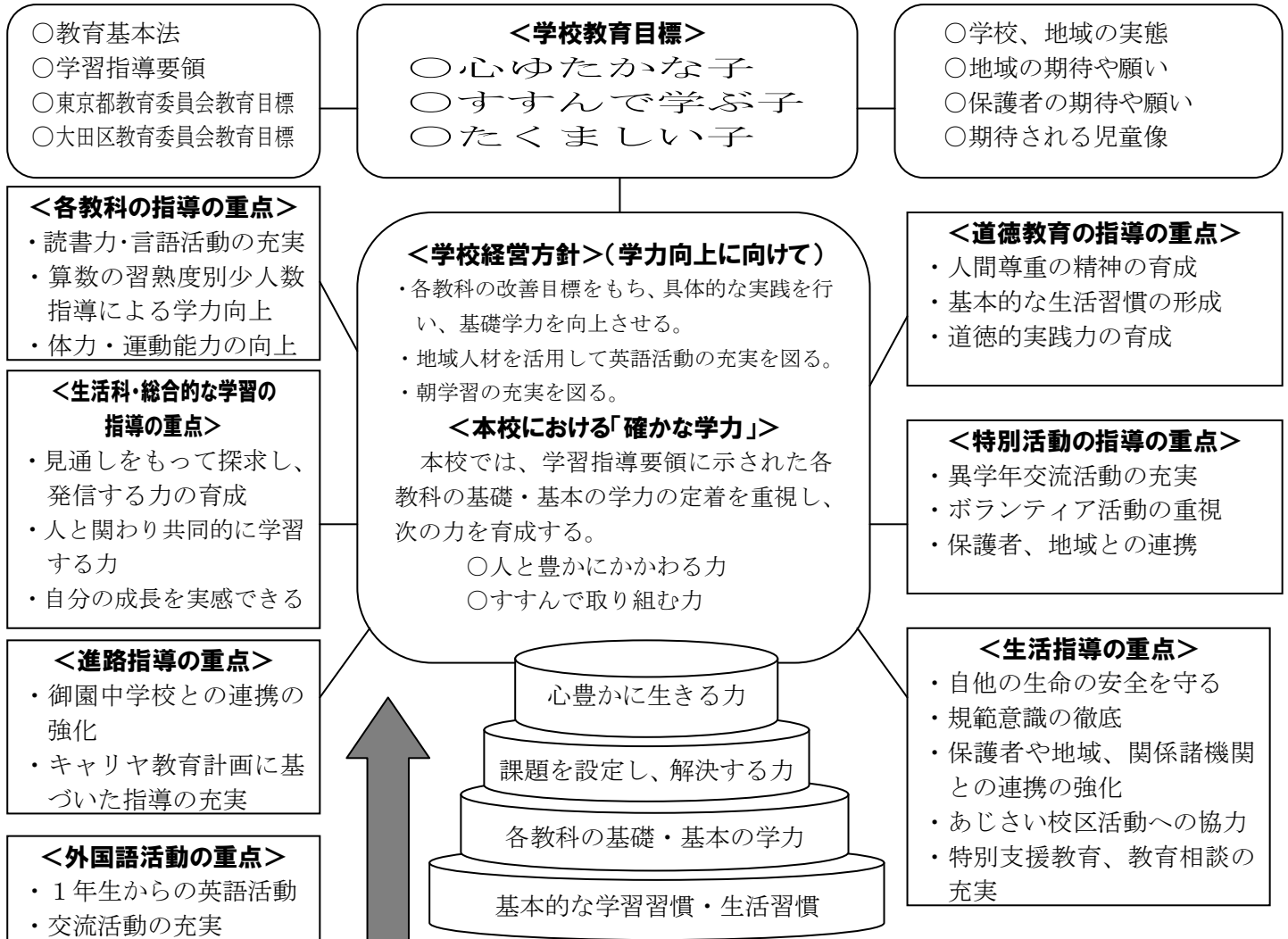


平成28年度＜大田区立道塚小学校 授業改善推進プラン＞

1. 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	学習指導の工夫・改善	評価・評定の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・週1回15分の朝学習を設定し、国語・算数の基礎学力の定着を図る。 ・週2回朝読書を実施し、読書習慣を図る。 ・外国語活動と英語カフェを全学年で取り組み、英語表現を使って人とかかわりの楽しさを味わわせる。 ・国際理解を深め、外国語活動への関心を高めるために、外国の方を招き「国際交流会」を実践する。 ・人権や生命尊重教育の充実を図り人権や命の大切さの理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科では、読書活動や音読・スピーチ発表を通して、表現力・言語力の向上を重視する。 ・算数科では、個に応じた指導を充実させ基礎学力の定着を図る。5コース編成で習熟度別指導をする。さらに、年間を通して平日・土曜日曜に補習を実施する。 ・運動能力テストの結果に基づき、児童の体力・運動能力の向上を図る。また、年間を通して縄跳びや持久走に取り組む。さらに、歩数計で児童の運動量を調べ、日常での運動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の評価規準を明確に設定し、その達成を目指して指導計画を工夫改善する。 ・適切な評価活動を指導に生かすために、各教科の評価計画を検討する。 ・保護者会などを通して保護者に評価についての理解を得るための説明を行う。 ・評価・評定に関する校内基準を共通理解する。 ・「家庭学習のすすめ」のリーフレットを配布し、家庭学習の定着と充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域の人々、地元企業などの協力を得て、平和・環境教育、ものづくりなどの様々な活動を展開する。 ・地域と連携して「道塚ワークショップ」や夏の「ワクワクするスクール」を開き、体験活動の参加を促進する。 ・あじさい校区の活動を中心に、関連の小中学校、幼稚園・保育園との連携を強化する。 ・区や地域の行事への児童の参加を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を大切にした生活科・総合的な学習の時間の授業づくりを重点研究とし、全学年が国際社会で輝いて生きる子どもの育成を図る。また、それを主題に本年度、研究発表会を行う。 ・年2回教育相談研修を行い、支援の必要な児童についての共通理解を深める。 ・若手教員研修で授業力・学級経営力を向上。 ・年3回の「早寝、早起き、朝ごはん」月間では、食育指導も含め規則正しい生活リズムの確立のため、実践的な取り組みを行う。

